経済産業省は十一月二

開催した。一般財団法人 | て講演やパネルディスカ | サイクルにおける報告書

ッションを繰り広げた。

の作成を加速させてい

CCシンポジウム開

る。本日は最新の知見を 近年強く認識されてい

ゲ・フォルサッツ IPC

続いてディアナ・ウル

C第三作業部会副議長、

手塚宏之日本経済団体連

BECの村上理事長、

ち「IPCCの重要性が 議官が冒頭あいさつに立

重な機会だ」と述べた。

知ることができる誠に貴

共 経 催省

(1)

茅陽一理事長)と共催で

PCCシンポジウムを

今後の取り組み」と題し

二二年までの第六次評価 発効を受け、二〇一五~

岸本道弘同省大臣官房審

など約百六十名が参加。

当日は関連企業・団体

考えようーIPCC第六

|は昨年十一月のパリ協定

間パネル」 (IPCC)

いて情報交換した。

「気候変動に関する政府 | では取り組みの動向につ 脱炭素社会に向けた一る。今回のシンポジウム

講演・パネルディスカッション展開

環境戦略ワーキンググル 合会環境安全委員会国際

いる。

ディスカッションではー

- プ座長が講演。パネル

PCCへの期待と課題な

The Transfer of the Transfer

ン総合展

どをめぐって活発に意見

三理事長)が後援し、「気 候変動の緩和策について

建築環境・省エネルギー 機構(IBEC・村上周

財団法人地球環境産業技 REMIUM京橋で公益 TKPガーデンシティP 十九日、東京・中央区の (昭和28年11月4日) 第三種郵便物認可)

気候変動緩和策で情報交換

内

閣本部が初

のシンポジ

丸の内で初の「水循環シンポジウム20-7~水でつながる連携へ向けて」を開催した。 流域マ ネジメントを国民的な運動に高めるため、公的機関の実務者に加えて水循環の健全化に取り組ん

内閣官房水循環政策本部は十一月二十四日、東京・千代田区のトラストシティカンファレンス

でいる民間企業や関係団体など約二百二十名が参加。全国各地域における活動の連携に向けた提





全国ネットワー

流域マネジメントは流一における協議会設立や計 ク構築提言 画策定を支援している。 厚生労働省、農林水産 従来の行政手法にとらわ 法人日本水道協会、公益 通省、環境省、公益社団 省、経済産業省、国土交 の共有化に向けて開催。 れない取り組みや推進策 今回のシンポジウムは

て黒川純一良同政策本部一 などが後援している。

京大学名誉教授)を開き、

言として積極的な情報の共有化や新たなネットワークづくりを呼びかけた。 国民運動

基調講演。パネルディス

の協力を求めた。

学デービス校名誉教授が

吉谷純一信州大学教授と

いての展望」をテーマに

浅野孝カリフォルニア大

健全な水循環へ

に立ち「平成二十六年に 事務局長が冒頭あいさつ

発 行 所 (株)日本設備工業新聞社

東京都渋谷区桜丘町 10-13 〒150-0031 野元第1ビル 電 話 (03) 3496-4774代 FAX (03) 3464-1884 iifo@setubikougyo.co.jp (購読料郵税共) 年極8,000円



本格導入で論点整理 検討会カーボンプライシング活用

本社会事業大学学長・東 会」(座長・神野直彦日 グのあり方に関する検討 回「カーボンプライシン アレンスセンターで第七 KP東京駅大手町カンフ 環境省は十一月二十四 東京・千代田区のT よる脱炭素社会を実現す 効果的な活用策について 向けて論点を整理する。 るため、本格的な導入に 素(CO2)の排出削減に カーボンプライシングの 議論を深めた。二酸化炭 カーボンプライシング



本計画が策定された。各 だ。政府としても地域ご の先進的取り組みのサポ 活動主体の連携が重要 水循環基本法、翌年に基 啓発などに積極的に取り 後押しやトップランナー との流域マネジメントの 市民への重要性の

カッションでは東京財団

組んでいく」と述べた。 源管理と水の再利用につ 州における統合的水資 続いて「カリフォルニ 活発に意見交換した。 帰山寿章氏、㈱トヨタマ 研究員の吉原祥子氏が司 参事官の岡積敏雄氏らが 祐氏、同政策本部事務局 野市湧水再生対策室長の 氏、高知県環境共生課課 会を務め、宮城県環境対 ロモーション室の松崎圭 長補佐の三好一樹氏、 策課技術補佐の千田雅仁 -ケティングジャパンプ

過分・不足分を取引する 要な方法として排出量に 提言では新たなネットワ 市イノベーショ 第2回 住宅·都 の排出削減を求められて 二〇五〇年までに八〇% 日本はパリ協定に基づき 排出量取引制度がある。 課税する炭素税と排出超 削減を促す取り組み。主 総意として全国に向けた 企業や家庭が排出量に応 じて負担することで排出 ―クを構築する準備会へ シンポジウム参加者の 小泉グループは、これからも住設機器の多様化に対応する 品揃え、供給・サービス体制をさらに充実させていきます。

人・街・未来へ



住宅設備機器の総合商社

/大宮営業所

召島営業所/多摩特販営業所 田田営業所/武蔵野営業所 名島営業所/高極野営業所

所/青梅営業所/立川営業所王子営業所/調布営業所

本社/城西営業所/城西営業所
世田谷営業所/城北営業所/城東営業所
世田谷営業所/城北営業所
世田谷営業所/城市営業所
世田谷営業所/城市営業所

第一仕入センター/第二仕入センター 第三仕入センター/電材推進室 第三仕入センター/電材推進室

本社/仙台営 本社/仙台営

別/仙台南営業所日営業所/会津営業所

本社:〒167-8555 東京都杉並区荻窪 4-32-5 ☎03-3393-2511 (代) HP: www.koizumig.co.jp

■いずみテクノス㈱ ・ 主葉稲毛店/Binh Thanh店 鹿浜店 リンテック小泉

/ 荻窪店/立川店/埼玉店/ 文学店/ 丁ォームプラザ小泉 営業所/千葉営業所

トナムトレーディング

16. 横浜户塚店/柏店、水店/東大和店/入間店/川越店/戸田店/入間店/川越店/川越店/川村店/川村店/川村市

《《《》 《如殿場宫業所/富士宮宫業所 解枝宮業所/清水宮業所 本社/沼津宮業所/富士宮業所 谷営業所/川口営業所 **イエコロジー**

所/茅ヶ崎営業所

横須寶堂業所/旭営業所 川崎南営業所/港南営業所 八船営業所/泉営業所/川崎北営業所 本社/特販営業所/横浜西営業所 相模西営業所/平塚営業所 本社/相模原営業所/相模台営業所

株小泉相模

様にことで、 高崎営業所/見野北営業所 を社/諏訪営業所/日田営業所 を社/諏訪営業所/日田営業所 と野営業所/上田営業所 と野営業所/上田営業所 と野営業所/上田営業所